

A N O L I V E R S T O N E F I L M

オリバー・ストーン監督作品

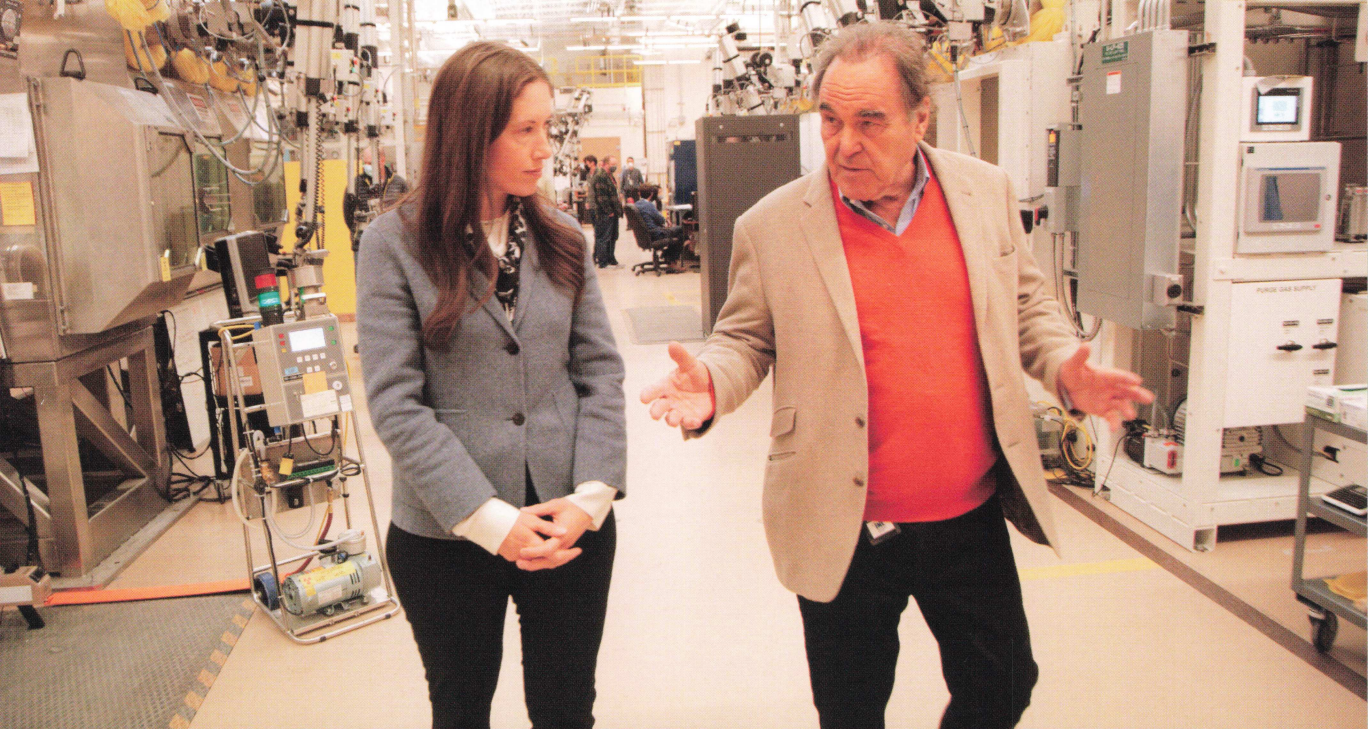


オリバー・ストーンが暴く
エネルギー戦争の裏側



未 来 へ の 警 鐘

原 発 を 問 う



気候変動に喘ぐ地球 人類が選ぶべき本当の クリーンエネルギーとは

自身のベトナム戦争体験をもとに描いた『プラトーン』(1986)と『7月4日に生まれて』(1989)でアカデミー賞の監督賞を2度受賞したオリヴァー・ストーン監督が、「いかに気候変動を解決するか」について書かれたアメリカの科学者ジョシュア・S・ゴールドスタインの著書『明るい未来』を基に、原子力エネルギーを直すドキュメンタリーを制作。

貧困国は急いで発電を進めていて、最も早く簡単技術である石炭を使うが、石炭は世界中で1年に50万人の死者をだす他、癌や肺気腫、心臓病などの影響を出している。経済の成長で、2050年までに現在の2~4倍のクリーン電力が必要となるが、現実的に見て再生可能エネルギーではこのギャップは埋まらない。

世界に問う、衝撃のドキュメンタリー

今、人類が選ぶべきエネルギーとは何か。

広島・長崎への原爆投下、チェルノブイリ原発事故、福島第一原子力発電所事故など、人類はこれまで被ばくによる被害を目の当たりにしてきた。

だが、石油・ガス業界が率先して行ってきた原子力エネルギーに対する大規模なネガティブ・キャンペーンによって、核に対する恐怖心を煽られた一面もあると、オリヴァー・ストーンは指摘する。

地球が気候変動とエネルギー貧困の課題に直面する今、果たして「原発」は未来への鍵となるのか。オリヴァー・ストーンの原子力に対する提案をどう受け取るべきか。



監督・脚本：オリヴァー・ストーン
脚本：ジョシュア・S・ゴールドスタイン
音楽：ヴァングリス

✉@nuclearnowjp
nuclearnow.negadesignworks.com

©2023 Brighter Future, LLC. All rights reserved

2022年 / アメリカ / 105分 / カラー / 5.1ch / 原題 "NUCLEAR NOW" / 配給：NEGA

2025年8月1日 ROAD SHOW